

研修等報告書

令和 4年 8月 22日

笠岡市議会議長 殿

議員 真鍋 陽子



下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

案 件	有機農業で変える地球の未来～「みどりの食料システム戦略」を市民の立場で考える～
期 日	令和 4年 8月 21日(日) 9時30分から11時20分まで
主 催 者	全国政策研究集会2022in 静岡実行委員会
講 師	NPO 法人しずおかオーガニックウェブ (SNOW)
訪問施設	ZOOMにてウェブ視聴
	<p>笠岡市内において実験的に取り組みが行われているオーガニック給食を政策として進めていくためには何が必要かを学ぶために参加した。2021年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」により、国は2050年までに目指す姿として、耕地面積に占める有機農業の取り組み面積の割合を25%（100万ha）に拡大すると示している。これは農林水産省としても非常に重い課題ではあるが、年々深刻化する地球環境を持続可能なものとしていくために世界的にみても避けきれない政策であり、地域でも実装に向け、積極的に取り組む必要がある。慣行農業から有機農業への転換、そしてオーガニック食材マーケットの拡大は重要な課題である。需要を伸ばすには消費者の意識の変化が土台となってくるが、真鍋は笠岡市内においてはオーガニック給食が重要な役目を果たすことができると考えている。昨年度、笠岡市内において初めて有機栽培人参（総社市産）が利用された。安心・安全な給食であることはもちろん、少しでも子どもたちに、地域を持続可能な形にして手渡すという意識を持ち、笠岡市がより強い自治体となるために、まずはオーガニック給食においてオーガニック食材を積極的に利用することで需要と供給のバランスを取りながら供給量の安定的な増加に取り組んでいただくための政策を考え、提案していく。</p> <p>研修資料 （参考資料 大塚愛岡山県議会議員いっぽ通信）</p>